

平成 29 年度第 1 回徳山西学校給食センター給食協議会 会議録

- 1 日時 平成 29 年 6 月 29 日 (木) 14:30~15:20
- 2 場所 周南市学び・交流プラザ 交流室 8
- 3 出席者 小学校給食担当者 5 名、中学校給食担当者 3 名
徳山西学校給食センターPTA 代表者 1 名
徳山西学校給食センター 栄養士 2 名、調理員 1 名、所長

4 会議経過

- (1) 会長挨拶
公務により欠席
- (2) 自己紹介
- (3) 9 月分実施申請書、人員票の提出日確認
- (4) 平成 29 年度 4 月~6 月の献立について

【委員】

- 5/9「端午の節句献立」は食べる物が多く、低学年では食べきれない児童がいた。
- 5/16「ピリから炒め」5/30「切り干し大根とキムチのソテー」は、おいしかったが、低学年の児童は辛いと言いながら食べていた。
- 5/29「焼き魚のマヨチーズソース」は、魚の大きさとソースの量が合っていないくて食べにくかった。
- 6/5「スパゲッティイタリアン」で小丸パンだが、スライスチーズが付いていた。普通のパンの時にも付けてほしい。
- 6/12「ピリからみそ焼きそば」は、おいしかったという児童も塩辛かったという児童もいた。
- 6/20「豆腐ハンバーグ」は、色が白く食欲をそそるものではなかったが、味は甘辛くよかった。
- 学校生活の中で、給食のメニューが児童にとって重要なポイントになっている。5~6 月は修学旅行や遠足で給食を食べない日があるが、児童はその日の献立を気にしている。
- 1・2 年生のご飯の量が日によって違う。4・5 年生よりもご飯の盛りが多い時がある。低学年は、もう少し減らしてもよいのではないかと思う。
- パンが硬い。周南市で同一の給食費なのに、当日焼パンと前日焼パンがあるのは改善してほしい。
- ふりかけの回数が増えると、ご飯が食べやすい。

- 炒め物が水っぽい時がある。
- 職員室の温食缶の量が、汁物やスープの時、少ないことがある。
- 井ではないときもおかずをご飯にのせて井のようにして食べているため、常にスプーンで食べるようになる。残さず食べるが給食指導としてどうなのか。食べ方があれば教えてほしい。

【栄養士】 ご飯にのせる献立の時は、配膳表で矢印を付けるなどして示している。ご飯に混ぜて食べてほしい時も矢印を付けているが、そのままおかずとして食べていることもある。作る側も食べる側もおいしく食べてくれればと思う。

(5) 平成 29 年度 2 学期の献立について

- ・丸パンの形状が変わる予定があることの説明
- ・9月から12月の献立について、担当栄養士が資料に沿って説明

【委員】

- 9月の2週目にスープが3回あるが、暑い時期に熱いスープはどうだろう。炒め物の方が良いのではないか。
- 11/1「おでん風煮」は練り物が多いことがあるので、野菜を多くしてほしい。
- 11/27「白身魚フライ」にタルタルソースがあればうれしい。
- 12/22 パンの日に「大豆とミートボールのケチャップ煮」は、食べにくい。おかずをスープ系にするか、またはジャムをつけてパンを食べやすくするか、にしてほしい。
- 「おじゃがもち汁」や「だまこ汁」は低学年にはボリュームがある。おいしいので食べたいが、同じ炭水化物なのでご飯が食べられなくなる。減量ごはんでもよいくらい。おかずは減らしてほしくはない。
- 保護者から…学校給食についてよく考えていただいている。成長期の子どもたちは、鉄分が不足している。家庭で取りにくい栄養素を学校給食でおいしく補ってほしい。

(6) その他

①給食の食べ残し削減について

- ・周南市全体の残菜率の対前年度比 0.2 ポイント削減、徳山西センターでは残菜率 5%以内を目標としている。学校でも食べ残し削減の取組に協力をお願いしたい。
- ・資料の残菜率には、職員分も含まれている。

②児童・生徒が嘔吐した際の処理について

- ・嘔吐した食器等は学校で消毒し、返却時はその旨表示をお願いしたい。

③異物混入について

- ・混入過程の確認のためにも、できるだけそのままの状態に戻してほしい。
- ・たけのこの由来成分「チロシン」について説明

④食品カードについて

- ・昨年度に引き続き、給食時間に使用する指導資料を作成し配布する。指導について協力をお願いしたい。

⑤食器等の返却について

- ・使い捨て手袋は、フライ缶ではなく、その他プラの袋に入れる。
- ・スプーンは通し金に通して、口金を止める。
- ・おたまは、食器缶に入れる。
- ・食器は重ねすぎに注意して、食器缶の蓋が閉まるようにする。

○次回の開催は、11月下旬を予定。